

75<sup>th</sup> Anniversary 2007



Hominis Dignitati  
NANZAN

南山学園創立75周年記念フェスティバル

# 宗教劇『受難』DVD

南山学園創立75周年記念フェスティバル  
宗教劇「受難」



2007年11月18日  
愛知県芸術劇場  
コンサートホール



脚本：南山大学野外宗教劇

脚本指導：徳留久佳(劇団B級遊撃隊)

演出：神谷尚吾(劇団B級遊撃隊)

監修：佃 典彦(劇団B級遊撃隊)

出演：南山大学野外宗教劇

演奏：南山大学管弦楽団

(指揮：寺本義明)

合唱：南山大学スコラカントールム  
南山大学メールクワイヤーOB  
南山大学女声コーラスOG

愛知県芸術劇場コンサートホールで上演された  
宗教劇『受難』が DVD になりました。

価格：1,000 円(税込)

- ・ 南山大学 名古屋キャンパス コパン2F NES 名古屋キャンパス店
- ・ 南山大学 瀬戸キャンパス 学生会館2F 丸善
- ・ 南山学園研修センター (株式会社エヌ・イー・エス)
- ・ 南山教会売店

でお求めいただけます。

狂気ともいえる怒りと罵声を浴びながら、一人の男が道を行こうとしている。

かつてこの地は、ローマ帝国の支配の下、苦しみにあった。貧困、病、差別、犯罪、刑罰…。

しかし、ある男の登場によって、その地は民衆の希望に包まれる。

我らをローマの支配から救うであろう、救世主“メシア”の到来である、と。彼の名はナザレのイエズス。神の御子。

だがそれも長くは続かない。失望、策略、親しい者の裏切り。彼は最期の苦難の道を行く前、

弟子達にパンとぶどう酒を与えよう仰せになる、

「神を信じ、そして私をも信じなさい」

今や彼は、荊の冠をかぶり血にまみれ、無残な姿で、十字架の上に佇んでいる。

何故、彼は死ななければならなかったのか。全てを知りながら自らの道を行ったのか。ただ無力に、死んでしまったのだろうか。

いいや、彼は全てを 成し遂げたのだ。そして、誰が予想できたであろうか、これから三日目後に起こることを…。

イエズスが命をかけて人々に伝えたかったこと。かつて彼とともにいた人間は彼に何を感じ、何を見出したのか。

聖書には決して描かれていない部分にも思いをめぐらしたストーリー。

主催：南山学園 技術協力：劇団B級遊撃隊/株式会社 若尾綜合舞台

お問合せ 株式会社 エヌ・イー・エス 本社：TEL：052-835-0176 FAX：052-835-0054 E-mail：info@nes-web.co.jp

NES(ネス)名古屋キャンパス店：TEL/FAX：052-832-5963 E-mail：shop.nnc@nes-web.co.jp

<http://www.nes-web.co.jp/>